

希望のもでる年に

日本共産党



憲法をくらしに 生かす政治を

二〇〇五年の幕あけです。
自衛隊のイラク派兵は世論の六割が「自衛隊すぐ撤退を」と声をあげています。ところが自民・公明政権は、国会審議もないまま、自衛隊のイラク派兵「一年延長」を決定しました。

憲法改悪の準備もすすめていきます。「戦争はしない」と誓った憲法九条をもつ国として、いまこそ「憲法まもれ」の声を上げるときです。

さらに政府は年金改悪につづき、国民に三兆円余の大増税となる「定率減税の廃止」、消費税大増税、介護保険の負担増も押しつけようとしています。

自民、公明、民主などが支える東京都政でも、多くの自治体で福祉の予算を増やしているのに、四年間で七六四億円もバツサリ削減し全国ワースト1となっています。

今年六月には都議会議員選挙が行われます。日本共産党は、みなさんとともに希望のもてる年にするため、国や都の悪政に立ち向かい、憲法を生かして平和、暮らしを守る政治の改革に決意新たにがんばります。

今年もみなさんと力あわせがんばります!

										
政調委員 松尾 かつや	団ニュース編集委員 三好 すみお	政調委員 団ニュース編集委員 さとう 純子	政調委員 橋本 ミチ子	政調委員 団ニュース編集委員 鈴木 秀三郎	政調委員 渡辺 修次	副幹事長 鈴木 けんいち	副幹事長 団ニュース編集長 伊藤 和彦	政調委員長 ぬかが 和子	幹事長 針谷 みきお	区議団長 大島 芳江
《自宅》 足立区島根 四一六三一〇三 (五二四二)八六四〇	《事務所》 足立区東和四一六一四 (三三六二〇)四七三二	《自宅》 足立区江北七一三二二 (五六九二)五九五五	《自宅》 足立区梅田 六一四二二 (三八八六)七三三二	《自宅》 足立区日ノ出町 二七三二一三〇 (三八八八)三九三三	《自宅》 足立区佐野 二一六二一〇四 (三六〇五)七六六六	《自宅》 足立区青井一四一〇 (五八八八)三五三二	《自宅》 足立区花畑六七一三三 (三八五九)六九五二	《自宅》 足立区伊興一五一三 (三八五四)七二五七	《事務所》 足立区西伊興四一七八 (三八五五)一五八七	《自宅》 足立区千住四一六一八 (三八七〇)三九二二



都議会議員・副団長
渡辺 やすのぶ

《事務所》
足立区梅田六四一六
(五六八二)三三三二

日本共産党
足立区議団ニュース

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

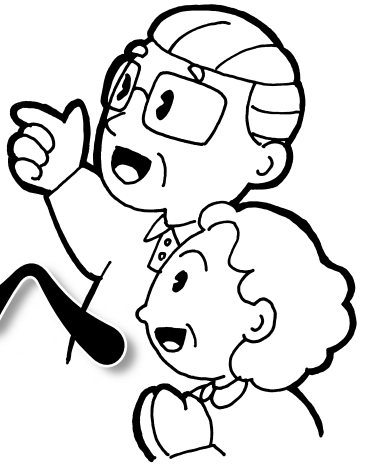
区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ <http://www.cpi-media.co.jp/adachi/>

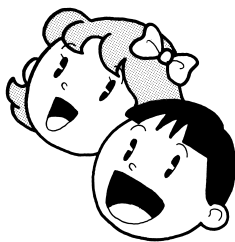
2004年第4回定例区議会報告

区民のねがい 力あわせて実現へ



日本共産党区議団は、子どもたちや区民の願いをとりあげ、粘り強い取り組みで区政を動かし、ついに普通教室のクーラー設置、前立腺がん検診を実現させました。またペットボトルの資源回収を区全域で実施、東伊興地域で小児科の夜間診療も行われることになりました。日本共産党は新潟中越大地震、台風・豪雨の被害者への支援とともに、区の災害対策の強化・拡充を求め、奮闘しました。

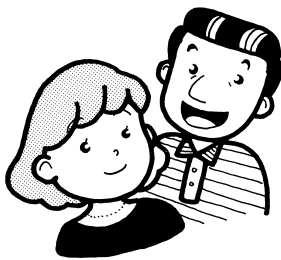
普通教室に クーラー設置



昨年の夏は教室の温度が四二度以上。「暑さでぐったり」「勉強が頭に入らない」と子どもたちから悲鳴が聞こえました。私たちは二〇〇一年から毎年の議会で普通教室へのクーラー設置を要求し、また財源を示した「予算組み替え案」も提出してきました。自民、公明、民主はこの予算組み替え案に反対しつづけ、区も普通教室へのクーラー設置を拒んできました。しかし、ねばり強い共産党の提案と区民世論の広がりで、ついに区は今議会で「二〇〇六年度から計画的に設置を検討する」と答弁し、実現することになりました。

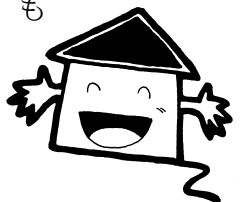
この知らせを聞いた区民から「よかった」「うれしい」「共産党さんありがとう」の声がたくさん寄せられています。

前立腺がん 区民検診に



区民の願いであった前立腺がん検診の実施について予算要望に盛り込むとともに十月の決算特別委員会でも「早期発見・早期治療が必要」と区民検診での実施を求めてきました。区は実施を拒否していましたが、十二月議会の本会議で「二〇〇五年度実施の方向で検討する」と答弁しました。

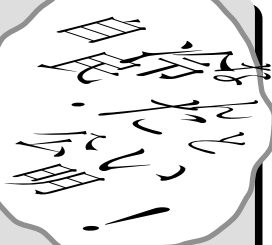
災害対策が前進



震災対策の強化について、子どもたちが学び避難所ともなる区立小中学校の耐震補強実施率が五五％であり、早期に完了するよう求めました。区は、計画より二年早めると答弁、前進しました。また、住宅改良助成制度の改善で住宅の耐震補強工事や家具転倒防止器具設置への助成実施を引き続き提案するとともに、不十分な被災者生活再建支援法の抜本的改正を国に求めるよう要求しました。区は「支援法」の改正を都を通じて求めていくと答えました。

さらに、千住閘屋にポンプ所の設置、栗原の下水管の改良など浸水被害が出た地域の対策を強めること、小中学校の統廃合で避難所が減少する千住地域の対策などを取り上げ、区は私立高校等と協定し避難所の確保を検討すると答弁しました。

「子育て支援」 と言いながら…



保育料

40%

値上げ強行

**民主は
退場**

鈴木区長は、保育料を段階的に四〇％値上げする議案を突然だし、十二月議会で自民党と公明党の賛成多数で強行可決しました。この結果、足立区保育料は二十三区中で最高額となります。

また、これまで無料であった世帯からも年間四万三二〇〇円を徴収する内容となっています。

前吉田区政は保育料を据え置き子育て支援子どもたちに「なくてはならない施設」を残して「健康学園を残して」

日本共産党は「区民が求めているのは子育て支援充実であり、値上げは逆行する」と厳しく指摘し反対しました。

民主党は賛成も反対も示せず本会議場から退場しました。

上総湊健康学園は、健康を損ね、家庭での養育が困難な児童を対象にした教育施設です。設立以来五四年間で四二六一名の卒園者を出し、大きな役割を果たしているものです。しかし区は、二〇〇五年度をもって廃止にする提案してきました。

日本共産党は議会に寄せられた存続を求める署名と声を示して存続を主張しましたが、自民・公明・民主は廃止に賛成しました。

三宅島支援など7つの意見書採択

足立区議会は、政府や東京都に対し●三宅島被災島民への支援 ●消防団の装備の充実と支援 ●大規模災害の対策と早期復旧 ●小規模住宅地に対する都市計画税の軽減措置 ●高齢者虐待防止などの意見書を全会一致で採択しました。